

2017年度事業計画

京都橘学園は、長期ビジョン（2015～2022）および中期プラン（2015～2018）で構成する「第1次マスタープラン」の取り組みを進めており、2017年度は3年目を迎えます。

学園においては、2017年度に学園創立115周年、大学開学50周年の記念すべき年を迎えます。2017年度にはサッカーグラウンドの整備を行い、2018年度には認定こども園事業を新たに展開し、存在感のある先進的な総合学園をめざします。

大学においては、2017年度に国際英語学部、発達教育学部を開設し、2018年度には臨床検査学科、作業療法学科の開設を予定しています。

中学校・高等学校では、ブラッシュアッププログラムに基づく施設整備を進めます。

大学、中学校・高等学校とも第1次マスタープランに基づき以下のとおり事業計画を立てています。

1. 大 学

(1) 大学開学50周年・学園創立115周年事業の実施

- ・大学・学園の歴史を振り返り、次の時代を創り出す記念事業を実施します。その結節点として、10月に周年式典・祝賀会を開催します。
- ・大学開学50周年記念出版等の企画によりブランドイメージの向上を図ります。

(2) 時代の変化に対応する学部学科再編

- ・2017年度に国際英語学部を開設し、グローバル社会で活躍する人材を養成します。
- ・児童教育学科の10年の教学の到達を受け継ぎ、発達教育学部を開設し、教職・保育職の現場で活躍する人材を養成します。
- ・健康科学部臨床検査学科および作業療法学科（2018年度開設予定）の設置届出の準備をすすめ、新たな医療分野での人材養成をめざします。

(3) 教学改革の推進

- ・全学において、学びの質を向上させる取り組みを進め、学生に学習到達目標を意識させる「成長実感アンケート」を新たに実施します。
- ・文学部においては、学部カリキュラムの充実を図り、キャリアゼミ、多読プログラム、京都プログラムを実施し、学生のキャリア形成および学修の活性化、就職活動支援へつなげます。
- ・国際英語学部においては、1年次から実質的な英語力を養成する教育プログラム「IEP」を実施し、高度な実務に耐える英語力の習得をめざします。
- ・発達教育学部においては、教職・保育職試験合格率の向上を図り、全国トップの就職実績実現をめざします。
- ・現代ビジネス学部においては、2017年度から経営学科に情報ビジネスコースを開設します。また、経営学科、都市環境デザイン学科とも、課題解決型学習（PBL）を積極的に展開し、学生の課題解決力の向上を図ります。
- ・看護学部においては、2019年度コアカリキュラム制定に向けて、カリキュラム検討プロジェクトを発足し、本格的に検討を開始します。また、将来的に看護学教育認証評価を受けることを想定し、カリキュラム到達度の把握、教員の教育力評価について検討します。
- ・健康科学部においては、地域包括ケアシステムに向けた新たな臨地実習およびPBL授業を実施します。心理学科、理学療法学科ともに、自治体との地域連携事業を強化し、滋賀県での教育フィールドの拡大に努めます。

- ・大学院においては、高度マネジメント能力養成への社会的養成に因應するため、2017年度に文化政策学研究科を改組し、2017年4月より現代ビジネス研究科マネジメント専攻修士課程を開設します。

(4) 研究活動、研究支援の推進

- ・研究活動の質量両面での向上を図り、文部科学省「研究ブランディング事業」への申請を目指し総合教育センターにおいて共同研究プロジェクトを計画します。
- ・科学研究費等外部資金獲得のため、申請者数の実数増加をはじめ、採択促進に向けた諸施策を強化します。
- ・総合研究センタープロジェクトにおいては、学部学科の特色を生かした学際的研究の推進を図ります。特に、地域課題研究においては、京都市、山科区、大津市、草津市など、自治体との連携による研究活動を推進します。
- ・研究倫理・不正防止等にも積極的に取り組みます。学長のリーダーシップのもと「研究倫理教育プログラム」を作成し、教職員全員への研究倫理教育を行います。

(5) 就職支援の推進

- ・低回生からのインターンシップ参加を動機づけ、低回生時から「学業」、「社会」、「仕事」に対する意識を持たせます。
- ・採用試験の初期段階である書類選考や筆記試験への対策を強化します。就職基礎力対策プログラムの充実とSPI模擬試験の受験を促進し、面接試験での選考確率を向上させます。
- ・地方企業において本学の知名度を更に上げるため、U・Iターン就職協定・連携県（地域）を増やし、本学の存在周知をさらに拡大させます。
- ・企業訪問で得られた採用情報等を適切に管理し、その内容をWeb上で学生に開示するシステムを開発工夫し、さらなる就職支援につなげます。
- ・国家試験対策、公務員試験対策プログラムをペースメーカーとすると同時に、各種講座や模試を通して学生一人ひとりに学力がつくように支援します。医療系学科においては、医療機関、公安系公務員への就職支援も強化します。

(6) 学生支援の推進

- ・学生の課外活動を積極的に支援し、山科醍醐地域でのボランティア活動や被災地域でのボランティア活動、学生の夢を実現するための「たちばなドリームチャレンジ」運動を促進し、学生の主体性を育てます。
- ・学生への経済的支援においては、2017年度も引き続き大学独自の奨学金の経済援助給付奨学金を充実させます。
- ・サークル支援活動においては、サッカー部を強化サークルに指定し、指導員の増員、グラウンド環境の整備、移動用バスの所有など、強化サークルとしての支援を行います。
- ・大学開学50周年事業として、大学祭の3日間開催を検討し、50周年にふさわしい大学祭となるよう学生の活動を支援します。

(7) 地域連携の推進

- ・地域に支持され、地域で学ぶ取り組みを進めるため、山科醍醐地域を中核とした「学まち連携大学」促進事業の充実を図ります。また、山科駅前にサテライトを開設し、地域連携活動を強化します。
- ・医療系新学科のエクステンション講座を重点事業として計画し、大学の特色を社会に積極的に発信します。
- ・女性歴史文化研究所が開設25周年を迎えるにあたり、「大学開学50周年・女性歴史文化研究所開設25周年記念出版」を刊行します。
- ・京都の10大学で運用する「東京サテライトキャンパス」での京都の芸術文化の発信に取り組みます。

(8) 志願者と入学者の安定的確保

- ・2018 年度開設予定の臨床検査学科と作業療法学科の募集広報に力を入れます。看護学科、理学療法学科、救急救命学科の3学科の実績により定着してきている「京都橘大学の医療系人材育成の質の高さ」をあらためて訴求し、医療系学科全体のポジションアップにつなげます。
- ・2017 年度開設の国際英語学部2年度目広報を積極的に展開します。また、国際英語学部と並んで学生募集の成功が大学全体のポジションアップにつながる経営学科などにおいて引き続き募集広報を強化します。
- ・本学の知名度や興味関心度を上げるための広報に重点を置いた広報活動を展開します。オープンキャンパスにおいては、新学科の体験講座企画を計画し、それぞれの資格や職業の魅力の浸透を図ります。
- ・2017 年度入試の状況を分析し、将来的な入試制度の改革を検討します。

(9) キャンパス整備の推進

- ・2018 年開設の臨床検査学科と作業療法学科の実験室、実習室、教員研究室および全学共用の普通教室を備えた新教室棟を建設します。
- ・バスロータリーおよび正門の移設などを行い、キャンパス外構を整備します。

2. 中学校・高等学校

(1) 文武両道の学校づくりと社会に貢献する人材の育成

- ・生徒たちがクラブ活動に励みつつも学業を計画的に進められるよう TM 手帳や Classi を活用した指導を行い、クラブ活動全体の活性化と進学実績の向上を図ります。
- ・特別進学(E)コースの進学実績の向上を図るとともに募集力を強化します。そのためにグローバル化時代に対応した教育プログラムを強化します。
- ・学校カウンセラーの配置、学校医等による定期検診、インフルエンザ予防ワクチン接種の校内実施などにより、生徒の心身両面での安心安全を図り、満足度の高い学校生活を実現します。
- ・生徒指導部を中心に生徒の規範意識向上に向けた指導を推進し、落ち着いた校風を安定して発展させます。また、地域からの生徒指導要望への的確な対応、生徒憲章の浸透、安心安全な学校づくりなどを進めます。
- ・授業実践研究セミナーや進路指導セミナーへの参加、課外活動に係る各種の講習などへの参加を図り、教員の教育力の向上を図ります。
- ・授業アンケートの実施と分析、校長による授業見学、外部教育機関実施の各種教育研究セミナーへの参加、学校主催の教育研究集会の開催など、教員の授業力とチーム力の向上を図ります。

(2) 進学実績で生徒募集域でのトップ50に入る高校の実現

- ・進学アカデミーへの参加を組織的に促し、進学実績目標を達成します。
- ・年3回以上の学力テストにおいて3年間にわたり学力目標をデータ化し、そのデータを基に学力向上に向けた取り組みを進めます。
- ・進路指導部の主導により系統的体系的な特別講座を編成し、学力向上に取り組めます。
- ・SL(Self Learning)やTM(Time Management)の取り組みを継続し、自学自習力を育成します。
- ・教務部・進路指導部を中心として関係部署が協力し、進路目標実現に向けた取り組みの具体化を図ります。
- ・京都橘大学への内部進学者数を安定して増やす取り組みを進めます。

(3) 日本一を目指すクラブの育成

- ・全国大会に出場する機会の多い5つのクラブについて、日本一になるための支援策を検討します。
- ・新たにESSやサイエンス系統のクラブなどの開設の検討を進めます。併せて、既存クラブのさらなる活性化を

進めます。

(4) 募集力の強化と安定的な経営基盤の構築

- ・学校説明会や「ドリーム☆スクール」などの志望者を学校に呼び寄せる企画や地域還元事業により、本校の認知度向上を図ります。
- ・塾訪問活動の強化、外部での本校主催学校説明会の開催、学校案内、ホームページ、新聞広告などの有効活用を図ります。
- ・学力の高い志願者獲得のための特別奨学生制度、自己推薦型のプレミアム入試を継続します。
- ・進学実績を高めるとともに特別奨学金を適切に運用し、国公立進学（S）コースへの志願者を増加させます。
- ・総合進学（A）コース生徒の学力を向上させ、一般入試受験者数を増加させます。
- ・留学制度の充実、医療・看護分野との教学連携等を行い、特別進学（E）コースの生徒募集力の向上を図ります。
- ・塾や関連機関からの情報を的確に分析し、生徒募集情勢の分析とその対応策を検討します。

(5) 伏見桃山の地で安定した学校づくり

- ・現キャンパスの長寿命化および魅力化計画を策定し、実行します。
- ・生徒数1,200名への規模拡大、コース改革に対応できる施設の整備を進めます。
- ・「京都橘中学校・高等学校ブラッシュアップ検討委員会」が策定した修繕計画を実行に移します。

3. 学園

(1) 学園のブランド力の強化

- ・大学開学50周年・学園創立115周年記念事業における主要行事として、10月に周年式典・祝賀会を計画します。
- ・サッカーの公式試合ができる人工芝グラウンドの設置を計画します。

(2) 社会に貢献する新規事業への挑戦

- ・学園の強みを活かし、幼児教育分野で新たに認定こども園事業を展開します。2018年度、滋賀県草津市での「たちばな大路こども園（仮称）」設置に向けて、園舎建設、職員採用などの準備をすすめます。

(3) 教育研究、経営を支える事務局体制の整備と職員育成（SD）の推進

- ・2017年度からのSD義務化に対応し職員研修の充実を図ります。

(4) 京都橘高等学校と京都橘大学との教学面での連携強化

- ・学園の総合的な発展のために中学、高等学校、大学間の教学連携を実施します。高校から大学への内部進学を質量共に充実させます。

以上